

第
32
回

人間らしく働くための 九州セミナー

第1報



2022
8.9 発行

記念講演は

「病気は社会が引き起こす」の著者

木村 知(とも) 医師 に決定!

なぜインフルエンザは毎シーズン大流行してきたのか? 総合診療に従事する木村医師は「風邪でも絶対に休めない」という社会の空気が要因の一つだと指摘されています。「皆勤賞、やめませんか」「休むことは罪悪か」などを問いかけ、不寛容社会ではない「困ったときはお互いさまの社会」「支えあうために生きている」ことを解き明かして頂きます。

社会保障費の削減政策が進み、負担は増え健康自己責任論が叫ばれている今日、医療、社会保障制度のあり方について示唆に富むお話しをしていただきます。

10月29日(土) 午後・30日(日) 午前
YouTube 配信

病気は
社会が引き起こす

インフルエンザ大流行のワケ

木村 知



テーマ(基本コンセプト) 「病気や障がいと労働」

労働者が人間らしい労働・生活を送り、人間的な発達をとげるためにも、個人の選択を尊重した社会保障の充実を前提とした労働権(日本国憲法27条)が重要です。疾病や障がいの有無、性自認、介護や家事などの家族的役割にかかわらず、すべての働く人びとがそれぞれの生き方に合わせた労働をする権利が保障される必要があります。

今日、日本人の2人に1人が癌にかかり、3人に1人が癌で死亡するなか、労働生活中に癌が発生する労働者も増えてきています。癌や透析、脳血管疾患などを発症した労働者への配慮は、職場や医療機関、地域の支援組織など、総合的な対策が必要です。障がいを持った労働者の働く機会が、障害者雇用促進法や障害者総合支援法の制定もあり、日本における労働が肉体労働から頭脳労働、そして感情労働へと変化を遂げる中、IT化とも相まって増加してきています。しかし、人間工学的対策が不十分な職場環境で2次障がいを受ける労働者も増えており、メンタルヘルス不調の労働者の職場復帰や「合理的配慮」も今日の課題として重要です。「病気や障がい」「高齢」「家族的役割」はすべての労働者に共通した課題となっており、今回の基本コンセプトを「病気や障がいと労働」とし、その両立に関する多角的な議論を行いたいと思います。

<企画案内>

□第1日 「病気や障がいと働く権利」

○講演 ○シンポジウム *障害と労働 *がんなど病気と職業生活の両立支援 *病気や障がいのある労働者に対する合理的配慮・両立支援 *他、調整中

□第2日 「病気や障がいのケアと労働」

○シンポジウム *子どもに障がいがあったら働けない? *介護と労働 *他、調整中

追ってご案内!

(お問合せ) 第32回人間らしく働くための九州セミナー実行委員会 <http://kyusemi.jp/>
〒804-0049 北九州市戸畑区天神 1-13-13 シティルーム天神 1F 九州社会医学研究所内
事務局 日高 ☎093-871-0449 Email: seminar@k-shaiken.jp

☆以下の詳細は8月下旬頃にお届けする「開催要項」をご参照ください！

一般演題の募集

本来なら分科会を開催し参加者の皆さんで討論を行うところですが、コロナ禍でのWEB開催となるため困難となっています。今回は、各地で奮闘されている実践の報告、働くものを取り巻く実態や健康問題について報告を一般演題として募集します。寄せられた報告は報告集にまとめます。

報告は次のテーマに沿ってお寄せください。

<募集する一般演題のテーマ> ※項目のみ

◆病気のある労働者の働く権利、休む権利 ◆障害のある労働者の働く権利 ◆働きながら介護を行っている人びとの健康権 ◆雇用によらない働き方と健康 ◆高齢者の労働と健康 ◆感情労働と健康権 ◆労働者のメンタルヘルス ◆職場でのいじめとハラスメント対策 ◆外国人労働者の労働と健康 ◆コロナ禍における格差と貧困の進行 ◆ひとり親世帯の働く環境について ◆親の働き方と子どもの貧困 ◆働く女性の健康 ◆非正規雇用と健康 ◆労働災害と補償 1) アスベスト問題 2) じん肺・振動病 3) 職業がん 4) 原発労働者 ◆過労死・過労自死問題 ◆コロナ禍での労働安全衛生活動 ◆医療・介護・福祉の現場から見た労働者の健康 ◆自営業・中小零細業者の健康 ◆公務労働者の労働実態と健康 ◆24時間社会・深夜労働と健康 ◆ブラックバイトの問題 ◆学校、職場、地域で働くルールを学ぶ

参加申込、広告募金、等

1)参加申し込みについて

- (1) 昨年同様、九州セミナーホームページからとなります。パソコン又はスマートフォン（QRコード）から行っていただけます。HP アドレス <http://kyusemi.jp/>
- (2) 参加を受け付けた後に YouTube の視聴用 URL を各参加登録者にお送りします。

2)参加費について

YouTube 配信ため利用規約上徴収ができませんので無料とします。

3)広告募金について

今回もご協力をお願い致します。今回のセミナーをはじめとする九州セミナーの年間を通じた活動は、毎年セミナー開催でご協力を頂いている広告料が主な収入源となります。各団体のご協力をお願い致します。

4)賛助金の募集について

広告募金とは別に、活動を支える費用捻出のため、別途、各団体、個人に賛助金をお願いすることとしています。

5)報告集について

寄せられた報告はホームページにもアップしますが、冊子としてまとめ1冊 1,000円でお分けします。

以上